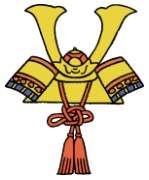
小中一貫目指す児童生徒像・学校教育目標「やさしく　いきる」重点目標「みんなのやさしさに『ありがとう』」

小木の子



富士第二小学校
学校だより
令和８年４月28日

みんなのやさしさに　『ありがとう』

◆１年生のスタートカリキュラム◆

今年度も、全校児童が、１年生のスタートカリキュラムに携わりました。２年生は「掃除の仕方」「片付け方」、３年生は「校歌・児童会の歌」「歌詞カードを貼る」「手洗いをすませ、白衣を着る」、４年生は「遊具の使い方」「運動場の使い方」、５年生は「いい鉛筆の日にやること」「鉛筆の持ち方」、６年生は「牛乳パックの開き方・片付け方」「帰りの支度」をやさしく１年生に教えていました。２～６年生が「教える」、１年生が「教わる」という関わりを通して、たくさんの「ありがとう」や、やりがい、できた喜びが生まれていました。21日(火)に、全校で１年生をむかえる会を開きました。上級生は、一つ上の学年になった自覚に、入学間もない１年生は、大きな安心につながることを願っております。

地域と共にある富士二小に

◆コミュニティー・スクール◆

富士二小は、コミュニティー・スクールとなってから、10年目になります。

学校と地域がパートナーとして連携・協働するために、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標や展望を地域住民・保護者と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域と共にある学校」

です。学校が保護者や地域の皆様と手を携え、協働して教育活動を展開することで、教育の質や環境が充実し、それが学校の特色となり、地域全体が一層明るく元気になることを目指しています。昨年も、学校運営協議会企画の「トークフォークダンス」を開催し、６年生とともに、地域の皆様が朗らかに語り合うことができました。その他にも、学習支援や環境整備など、多くの場面でご協力をいただきました。子どもたちは、地域や保護者の皆様の温かなご支援をいただき、のびのびと活動に励むことができております。また、様々な立場や年齢の方々とのふれあいは、学習面に加え、心の成長にもつながっております。

◆ＣＳボランティア登録制度◆

「ＣＳボランティア(ふれあい協力員)」登録制度は、令和３年度に立ち上げました。本制度は、「できる人が　できることを　できる時に」をモットーにしております。人手が必要な時に、登録していただいた方へお声掛けをする仕組みです。もちろん都合がつくときでかまいません。ご賛同いただける方は、登録をお願いいたします。方法につきましては、後日配付予定のＣＳだよりをご確認ください。ご登録をお待ちしております。

おほめの言葉をいただきました。

歯科検診では、歯科医の先生から「きれいに磨けていますね。」との感想をいただきました。また、先日は、会社員の方から一本の電話が入りました。「会社の入口に落ちていた運転免許証を４年生の子が届けてくれました。大切なものを拾って近くの大人に渡してくれたことが嬉しかったです。」と話されていました。さらに、20日(月)は、下校中の高校生が、自転車のチェーンが外れ、苦戦していたところ、５年生の子が声を掛けてきて手伝ってくれたそうです。高校生の生徒さんは感動し、学校までお電話をくださったようです。心温まる嬉しい話題を、保護者の皆様や地域の皆様と共有させていただきました。

朝の登校時は、通勤や通学の自動車や自転車が頻繁に激しく行き交っています。本校は、多くの保護者様の付添や、横断を見守るたくさんの地域の方々に支えられ、安全に登下校ができていることを痛感しております。今後も、お子様の安全な登下校にご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。